

第29回関東ミニバスケットボール大会
茨城県大会結果
男子MYブロック

川上北	44	19	VS	9	51	与野西北
神奈川		2		11		
		10		17		
		17		14		埼玉

1Q 両チームゾーンディフェンスで無難なスタートを切るが、川上北4番がポイントを重ね、1クォーターを10点リードで終了。
2Q 与野西北4番はダブルチームでディフェンスされるが、ファールをもらいながらポイントを重ね、2クォーターで1点差まで追い上げる。
3Q 両チームそれぞれ持ち味を出しポイントを重ねるが、与野西北がついに逆転し6点差をつける。
4Q 川上北はエンドラインからプレスディフェンスにするが終盤まで点差が縮まらず与野西北が逃げ切り7点差で勝利。
プレースタイルの似た両チーム。見ごたえのある試合だった。

(戦評) 館野光洋

与野西北	57		VS		61	一宮
埼玉						
						山梨

1Q 与野西北、一宮ともゾーンディフェンスでスタート。与野#4を中心とした攻撃に対し、一宮は長身の#18を中心に攻撃を仕掛ける。お互い一進一退で終了。
2Q 与野速い攻撃で引き離しにかかる。一宮2分間得点無くタイムアウト取るも、与野のゾーンを攻めあぐね徐々に点差を広げられ終了。
3Q 一宮オールコートプレスと#18を中心に猛烈に追撃する。与野#4、#5を中心に攻撃するも相手ディフェンスを攻めきれず徐々に点差をつめられる。
4Q 残り3分同点に追いつかれたところで与野タイムアウト。逃げ切りにかかるも、一宮の厳しいディフェンスと#18の攻撃を止められず逆転を許しゲームオーバーとなる。
総評 両チームとも落ち着いたゲーム展開であったがインサイドプレーで勝った一宮が勝利をつかんだ。敗れはしたものの与野も速きびきびとしたプレーに好感がもてた。

(戦評) 飯塚 和男

一宮	55		VS		64	川上北
山梨						
						神奈川

1Q 一宮がリバウンドからの速攻と#18のポストプレーを中心とした攻撃に対し、川上北は速いパス回しからの攻撃で対抗。一宮10点リードで終了。
2Q 一宮オールコートマンツーマンに対し、川上北オールコートプレスで応戦。お互い速い展開で試合を進める。川上北#7の個人技で得点を重ね点差を詰める。
3Q 長身を生かした内側からの攻撃ができず外からの単調な攻撃となってしまった一宮に対し、川上北はスピードを生かした速い展開からの多彩な攻撃で逆転。
4Q 一宮は#18の長身を生かした攻撃で追撃するも、川上北#4の視野の広いパス回しと得点、どこからでも得点できる攻撃に点差を詰めることが出来ずに終了。
総評 両チームとも積極的な攻撃を展開したが、スピードあふれる速く多彩な攻撃を展開した川上北が、身長で勝る一宮を上回り勝利を収めた。

(戦評) 飯塚 和男